

平成31年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

〈基本方針〉

近年、少子・高齢化の進行等による家族構成や地域社会が変化し、社会的孤立や排除、引きこもりの問題等、地域社会を取り巻く環境は複雑化・多様化・深刻化しています。

東日本大震災から8年が経過し、被災者の災害公営住宅等での生活も始まり、その9割で自治会が組織され住民同士の交流会や高齢者等の見守り支援活動も見受けられますが、未だに仮設住宅で生活されている方や自治会等が未設置の災害公営住宅に住まわれている方々の心のケア、見守り等被災者の生活支援は依然として必要であり、社会福祉協議会の果たす役割もさらに大きくなっています。

このような状況を踏まえ、気仙沼市社会福祉協議会は地域福祉を推進する民間団体として、住民とともにを基本に、地域懇談会を開催して住民の生活課題等を把握し、その意見を反映させながら気仙沼市や各種機関・団体等と連携し、「第3期地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画は、平成31年度から平成35年度までの5ヶ年を計画期間とし、気仙沼市の「第3期地域福祉計画」と連携し、市民の皆様と協働しながら、地域課題を共有し、それぞれの役割をもって、地域の福祉活動を推進するものです。

複雑化する地域社会での活動を担う人材育成や人材確保が重要な課題として挙げられており、小地域ネットワークの構築・活動を通じて、情報の共有や意見交換の場づくりを進め、地域におけるリーダー役を担う人材の育成に取り組むとともに、幅広い年代の方々がボランティア等として関われるような新たな取り組みへのきっかけづくりを進めます。

地域福祉の推進を主体的に行う本会としては、高齢者や障害者、子ども等すべての方々への対応が求められており、多様な地域の福祉課題やニーズに対応し、地域の福祉課題の解決に向け本会のコーディネート機能を活かし、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生きいきと暮らすことができる地域づくりのため、行政や地区社協とのネットワークの強化と関係団体との連携を進めます。

介護保険事業・障害者支援事業は、今後もインフォーマルなサービスとの連携を視野に入れ、法令を遵守して利用者個々の尊厳を基本に、良質できめ細やかなサービス提供に努め、安心してサービスが受けられる体制を整備し、利用者やその家族との信頼関係を築き安定的な事業運営に努めます。

指定管理事業は、その事業の経営判断の下、次期の申請に向けて大胆な発想の転換を求めてまいります。

本会としては、このような社会福祉を取り巻く状況を十分に認識するとともに、これまで以上に経営状況を適切に把握しつつ自主財源の確保、介護保険事業や障害福祉事業を責任と透明性のある運営を基本として財政基盤を確立し、健全経営に努めます。

〈重点目標〉

1 福祉教育の推進・ボランティア活動の充実

市内小中学校との連携により福祉に関する教育・啓発に積極的に取り組み、次世代を担う子供達をはじめ、住民一人ひとりが地域福祉を身近に感じ、地域の課題を自らの問題として受け止め、地域活動・ボランティア活動に繋がるよう福祉の意識づくりに取り組みます。

2 小地域福祉ネットワークの発展強化

社会的孤立や排除、引きこもりの問題等地域での様々な課題解決に向け、小地域福祉ネットワーク活動の普及・啓発を積極的に推進して、地区社協をはじめとする地域関係団体と連携して充実・強化に努めるとともに、身近な地域でのリーダーとなる人材育成と地域の活動拠点づくりとともに、意見・情報共有の仕組みづくりに取り組みます。

3 地域コミュニティの再構築

孤立死の防止や引きこもりの防止、災害時における円滑な助け合いに繋げるため身近なコミュニケーションの場となる交流サロン等の開催支援や近所づきあいの再発見、地域での顔の見えるつながりの再構築を各種団体と連携しながら進めます。

4 地域包括ケアシステムの構築

自助、互助の基本精神による地域包括ケアシステムの構築を目指し、市と連携して医療・介護の多職種連携や地域の関係団体等と連携しながら、自立した生活を最後まで送り住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう必要なサービスが適切に提供できるよう事業を展開します。

5 専門機関の相談窓口の充実

既存の制度では対応が難しい制度の狭間にある課題を抱えた方々の課題解決のための専門機関による相談窓口を定期的に開催します。

6 介護保険事業・障害福祉事業サービス提供の充実・強化

介護保険事業・障害福祉事業は、さらに厳しい経営が迫られることから新規利用の確保や拡大を図るとともに、質の高いサービスの提供に努めます。また、定期的な研修受講により、職員のスキルアップを図るとともに、各事業所間での連絡調整を密にして、良質なサービスの提供体制の強化と、業務の効率化を図ります。

7 組織体制の充実と財政基盤の確立

社協運営が厳しさを増す中であって、事業準備や中長期展望による事業推進を見据え、委員会での議論を深めるとともに、社協職員の意識改革を図り、社協職員自らが提案し、実践・行動する開かれた市民に親しまれる社協としての組織体制と財政基盤の確立に取り組みます。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに進めていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会2回 理事13名以上16名以内、評議員28名以上33名以内 当初予算額 735,000円
評議員会の開催	
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事3名以内 当初予算額 168,000円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。また、研修会への参加等により、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。
委員会の開催	社協運営に関する意見を聴するため、企画経営委員会、地域福祉推進委員会を開催します。

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、第3期活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を年間3回開催し、各地区社協の代表委員において、第3期活動計画で掲げた具体的取組実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。 ・第3期活動計画の推進に向けて、職員が地域に出向き積極的に計画内容を紹介する等、市民、地域、事業者等へ広く周知・啓発を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 460,000円

<p>地区社協活動への支援</p>	<p>地区社協会長会議を開催して情報提供を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年3回以上開催し、情報共有と意見交換を行います。また、福祉のコミュニティづくりに向け、各地区社協の課題を把握するとともに、解決に向けた支援に取り組みます。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 428,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 <p>当初予算額 法人運営事業の内 2,519,000円</p>
<p>ふれあい相談センターの運営</p>	<p>ふれあい相談センターで市民の課題解決に向けた相談を受けます。</p> <p>法人内事業所による情報共有会議の開催、宮城県サポートセンター支援事務所の協力による専門相談、相談員連絡会議の開催、移動相談の実施等、地域のニーズを発掘し、重層的な支援ができる体制を形成し、住民の相談に対応できるように調整を図ります。また、各種研修会に参加し、資質向上に努めます。</p> <p>【気仙沼地区】 気仙沼市社会福祉協議会本所にて、月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前9時から午後3時まで開設します。</p> <p>【本吉地区】 気仙沼市社会福祉協議会本吉支所にて、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで開設します。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,771,000円</p>
<p>小地域福祉活動の推進</p>	<p>誰もが地域の中で安心して生活できるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う、小地域福祉活動の推進に努めます。また、本事業は、生活支援体制整備事業と支え合う地域づくりという目的が合致することから、地域支え合い推進員・地域支え合い協力員及び協議体を包含する形で推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協圏域での住民懇談会（協議体）の開催により、地域課題を自分事として捉え、地域でできることに取り組む環境づくりに努めます。 ・様々な地域課題の解決に向け隣組から自治会、振興会、地区社協、地域、全市の重層的な支え合いの仕組みづくりを進めます。 ・震災後の新たなコミュニティづくりの支援を通じ、近隣で支え合える関係づくりの構築を目指します。 ・地域活動推進者の人材育成を目的とした研修等を進めます。 ・地域福祉推進フォーラムを地区社協単位で開催し、地域における住民福祉活動の取り組み紹介とともに、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。なお、次年度以降は地区社協等地域単位で開催できるよう支援に努めます。 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協を指定し、住民が元気に活躍できる地域づくりと支え合いの活動の充実・強化を図ります。 ・小地域福祉活動補助金を交付し、活動の円滑な運営を図ります。

	当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 780,000 円
地域包括ケアシステムの構築推進	気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランに基づき、構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組みます。
広報・啓発	社協だよりを発行し情報提供を図ります。 年6回「気仙沼市社協だより」を発行し（偶数月・全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービス等の情報提供を行うことにより、住民参加による安心して暮らせるまちづくりの推進を目指します。また、本吉地域においては年6回奇数月に「本吉支所だより」を発行し、本吉地域の全戸に配布します。 ホームページ ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野の広報啓発を行います。 当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 2,507,000 円
本吉地域福祉まつり	「みんなでいろんな輪をつくろう」を開催テーマに市民が楽しく主体的に集うことにより福祉を身近に感じるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう一人ひとりの自発的な行動と共に支え合うことについて考え、理解を深める場として開催します。特に地域福祉推進に向けた重層的な地域の支え合いの仕組みづくりを進めるにあたっての理解が深まる場となるよう企画と運営を工夫します。開催月：6月 当初予算額 福祉育成援助事業の内 381,000 円
本吉地域ひまわり会交流事業	一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的に地区社協やボランティア団体及び本吉響高等学校の協力を得て、公民館等を活用しながら年4回実施します。また、より多くの参加が得られるよう年2回分は内容を変えて実施します。 実施月：7月、10月、12月、3月 当初予算額 231,000 円
子育て支援交流事業	関係機関等と連携し、子どもに関するイベントの開催や地域とふれあう機会を設けながら、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりを推進します。 当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 300,000 円
高齢者交流会	高齢者の一人暮らし世帯及び高齢者のみの世帯を対象に、関係機関等の協力により、生活の質の向上と仲間づくりを目的とした事業を実施します。 当初予算額 老人福祉事業の内 50,000 円
善意銀行の運営	市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用を努めます。 当初予算額 301,000 円
屋内ゲートボール場の運営	ゲートボール競技を通じた市民の健康づくり支援とスポーツの振興による福祉向上のために、適切な維持管理による施設の利用促進を図ります。 当初予算額 880,000 円

気仙沼市市民福祉センター管理・運営	<p>気仙沼市市民福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民相互交流及び高齢者並びに障害者の自立促進及び健康増進を図るため、本会が行う事業及び福祉団体等が行う事業等と連携し、センターの効果的な活用に努めるとともに、施設の適正かつ円滑な運営に努めます。</p> <p>当初予算額 17,479,000 円</p>
-------------------	---

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等への一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

事業名	内 容						
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	<p>ボランティア意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア意識の啓発を図り、人との繋がりの中で共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等のほか、ボランティア育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。 ・地域福祉やボランティアに携わる人材のすそ野を広げ、地域力の向上を目指すためにボランティア各種養成講座を開催します。 ・ボランティアスクールを開催し、小学生から高校生までの若年層におけるボランティア意識の向上に努めます。 ・ボランティア交流会等の開催により、まちづくりを共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進め福祉のまちづくりを進めます。 ・広報誌等を活用したボランティア活動関連の情報提供を行ないます。 <p>ボランティアセンターの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に備え災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催し、機能強化に努めます。 <p>ボランティアへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが安心して活動できる環境を整備するために、ボランティア保険の加入促進に努めます。 <p>当初予算額</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">ボランティア活動育成事業の内</td> <td style="text-align: right;">696,000 円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいのまちづくり事業の内</td> <td style="text-align: right;">344,000 円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアセンター事業</td> <td style="text-align: right;">220,000 円</td> </tr> </table>	ボランティア活動育成事業の内	696,000 円	ふれあいのまちづくり事業の内	344,000 円	ボランティアセンター事業	220,000 円
ボランティア活動育成事業の内	696,000 円						
ふれあいのまちづくり事業の内	344,000 円						
ボランティアセンター事業	220,000 円						

4. 福祉教育

市内小中学校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒への福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>地域と連携した福祉学習の開催や福祉学習プログラムの提供を行い、地域で学び合う中で、福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。併せて、小学校、中学校、高校への多様な福祉教育学習プログラムの提供を行うとともに、疑似体験や認知症に関する学習、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで、思いやりの気持ちを育み、みんなで支え合うことの大切さ等福祉意識が醸成されるよう取り組みます。</p> <p>福祉教育活動費補助金交付事業 学校教育における福祉活動への活動費補助により、継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。 当初予算額 ボランティア育成活動事業の内 740,000 円</p> <p>福祉教育、企業、団体への職員派遣事業 機会を捉えて市社協職員を派遣し、福祉への理解を深めることや地域活動に対する意識の啓発を行い、地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。</p> <p>行事参加協力調整事業（高校生ボランティア等の活動調整） 市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募り、福祉への理解と協力が深まるよう努めます。</p> <p>敬老作文コンクール事業 市内の小学生を対象とした敬老作文コンクールを実施し、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。 当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 307,000 円</p>

5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	低所得世帯等の生活の安定と経済的自立を図られるよう担当民生委員や自立相談支援事業所等と連携しながら、必要な相談支援を進めます。また、借受世帯の生活実態の把握に努め、各関係機関と連携しながら世帯の自立に向けた支援に取り組むとともに、償還への働き掛けを行います。 当初予算額 3,806,000 円
生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸し付けることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、滞納されている借受世帯に関しては、担当民生委員との情報共有を図りながら、償還への働き掛けと併せ、生活課題の解決に向けた取り組みを支援します。 当初予算額 248,000 円

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	被災した低所得世帯の生活の再建を支援するため、必要な資金の貸付と相談支援に取り組めます。また、借受世帯については、引き続き定期的に状況を確認しながら、担当民生委員と連携しながら適宜必要な支援と生活課題の解決に向けた取り組みを進めます。
特例緊急小口資金貸付事業	震災発生時に貸付を行った資金の債権管理と借受世帯の生活再建状況に応じて、宮城県社会福祉協議会と連携しながら引き続き償還への働き掛けを行います。

6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内で発生した火災による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 31,000 円
歳末たすけあい募金配分事業	住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支え合い活動が展開できるよう、民生委員児童委員及び地区社協会長等の協力の下、地域の状況の確認を行いながら募金の配分に努めます。 当初予算額 8,369,000 円
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故含む。）により扶養していた父母の一方または相方が死亡した満 18 歳以下の高校在学までの者に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努

	めます。 当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 431,000円
--	-------------------------------------

7. 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援や情報提供に努めます。

事業名	内 容
日常生活自立支援事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（呼称：まもりーぶ気仙沼・南三陸）	判断能力が十分でない方の日常的な金銭・書類管理や見守り等の活動を通して、住み慣れた地域で安心して生活できるよう住民の権利擁護のため、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築、事業所に対する本事業の共通理解・促進、専門員と生活支援員の人材育成、事業実施主体である宮城県社協間との事業内容の整合性を図りながら、事業の実施に努めます。 当初予算額 9,684,000円
障害者福祉の推進	障害者福祉活動事業（障害者との交流） 当事者の社会参加を促進するとともに、参加者同士が相互理解を深めることができるよう専門機関と連携した支援に取り組みます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 111,000円 録音サービス事業 視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループや高校生ボランティア等の協力により「広報けせんぬま」や「本吉総合支所だより」「社協だより」等を朗読録音し、希望者に配付することにより、行政情報や地域福祉情報等の必要な情報発信に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 11,000円 点訳サービス事業 視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報提供に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 10,000円
ガイドヘルパー派遣事業	視覚障がい者の社会生活を支援するため、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパー養成講座等を開催し、人材の育成に努めます。 当初予算額 障害児者福祉活動事業 322,000円

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等関係法令を遵守し、また、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (多機能型事業所； 就労移行支援・就労 継続B型)	<p>利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、指導を適切かつ効果的に提供するように努めます。</p> <p>支援学校卒業後の利用に繋がるよう、就労会議等での情報提供とPR活動に努め、在宅で生活している障害者に対しても、施設利用に繋がるよう働きかけを行い、利用者増を図り、収入の増加に努めます。</p> <p>生産活動に関しては、菓子製造班の整備と新規清掃事業を獲得し増収を図り、利用者の支払工賃の増額に努めます。</p> <p>当初予算額 81,731,000円</p>
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業所)	<p>障害者一人ひとりが安心して住み慣れた地域で自分らしく自立した心豊かな暮らしができるよう支援します。利用者の意志を尊重し、利用者が主体的に選択する活動を通じて生活経験を重ねながら、その持つ力を引き出し自信に繋げ、自らが抱える問題の解決や自身の生活の向上を図ります。施設では、排泄及び食事の介護、生産活動の機会、その他の便宜等を法令に基づいた適正なサービスの提供に努めます。また、施設を中核として地域住民とのふれあい交流活動に取り組みます。障害特性に配慮するため施設内外の生活環境を整え、各年齢層への心身の状況に適したサービス提供に取り組みます。</p> <p>当初予算額 57,057,000円</p>
気仙沼市マザーズホーム (多機能型事業所； 児童発達支援・放課 後等デイサービス)	<p>児童発達支援事業は、障害特性や年齢に配慮し、利用者ごとの発達課題を見極め、自立に向けた身体作りや手先の器用性を高める活動に重点を置いて取り組み、集団生活での適応能力を育てます。</p> <p>放課後等デイサービス事業は、子どもの自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを大切にす取り組みを行います。</p> <p>学校休業時には、豊かな生活が送れるような活動を提供し、友達と関わりながら、葛藤を調整する力、主張する力、協調する力が育つよう取り組みます。</p> <p>当初予算額 32,575,000円</p>
気仙沼市マザーズホーム (保育所等訪問支援)	<p>新規事業として保護者に周知するとともに、訪問先機関(保育所・幼稚園・認定子ども園・小学校・中学校)へ、保育所等訪問事業の必要性やその支援内容についても十分説明をし、理解を得るように努めます。また、関係機関との連</p>

事業)	携を大切にし、保護者・訪問先機関の職員との信頼関係を保ち、安心して利用できるよう努めます。 当初予算額 2,030,000 円
気仙沼市マザーズホーム (宮城県障害児等療育支援事業)	新規事業として事業内容の周知を図り、発達障害支援センター「えくぼ」と連携した相談支援を行うとともに、研修会の開催や療育教材を使用し家族支援に取り組みます。また、気仙沼支援学校と連携し「ペアレントトレーニング」に取り組み、地域で身近な療育相談の場になるように努めます。 当初予算額 4,000,000 円
松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)	利用者又は保護者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスが総合的に提供されるよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。 当初予算額 1,278,000 円
指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）「つばさ」	利用者が地域で自立した社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況及びその置かれている環境に応じ、共同生活住居において安心した地域生活ができるよう、相談、食事その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めます。 当初予算額 6,262,000 円
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	障害を持った方が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画を策定し、適正なサービスの提供に努めます。また、有用な研修受講や伝達研修により、専門知識の習得の機会を設け、従業者の資質向上を図ります。 なお、従業者の人材及び利用者確保に鋭意努力し、事業所の安定経営に努めます。 当初予算額 2,796,000 円
訪問介護ステーションからくわ	利用者の心と言葉に耳を傾け、理解と共感を図り、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援するとともに、各関係機関と連携を密にし、専門的支援、サービスの質の向上に努めます。また、職員研修に参加し、事故防止と感染予防の徹底に取り組み、誰もが住み良い地域社会を創るために取り組みます。 当初予算額（居宅介護） 1,459,000 円 （同行援護） 1,885,000 円
ヘルパーステーションもとよし（居宅介護）	障害を持った方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、中長期的な視点で継続的に利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り、真のニーズを見つけ出し、専門性が高いきめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。また、サービス提供体制を強化し、関係機関との連携を密にし、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。 当初予算額 9,451,000 円

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ（身障）	利用者や家族が住み慣れた地域や在宅において、自分らしく安心して生活できるよう意向を尊重し、丁寧で寄り添った良質で安心できるサービス提供に努めます。また、家族の介護負担を心身ともに軽減できるよう努めます。地域医療、福祉関係機関との連携を大切にするとともに、研修等にも参加し、質の向上に努め、事故防止と感染予防を徹底します。 当初予算額 1,219,000 円
訪問入浴サービスもとよし（身障）	利用者と家族が住み慣れた地域や在宅で穏やかな気持ちで日々を過ごせるようその意向を尊重しながら、丁寧なケアを行います。今後も心身状況の変化に随時対応できるよう、ケース検討や職員研修を強化し、サービスの質の向上に努めよりよいケアを目指します。 当初予算額 600,000 円

8. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点を置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外へ移動困難な方に対し、依頼に基づきリフト付ワゴン車の貸出及びボランティアによる移送を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 265,000 円
生活支援型食事サービス事業	食事の調理が困難等の高齢者に対し、定期的に食事を提供することで、生活上の負担軽減を図るとともに、安否確認を行います。また、社会情勢を踏まえた事業の見直しを市と協議する機会を設けます。 当初予算額 3,902,000 円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域ボランティア等との交流を通して、住民同士が支え合う地域づくりを推進しながら、広く事業の周知を行います。 当初予算額 老人福祉活動事業 762,000 円
安否確認訪問サービス事業	一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じて声掛け訪問による安否確認を行います。 当初予算額 95,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企

	画や参加を促進します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 20,000 円
--	--

(2) 老人福祉センターの指定管理

高齢者が健康で豊かな生活が送れるよう各種相談や地域の方々との支援等により、生きがいつくりや自立生活の支援に取り組みます。

センター名	内 容
気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」	気仙沼市の条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制を充実させます。 各集いや各講座等を通し、知識や教養を高めるとともに、利用者間の交流を深め、生きがいをもって生活ができるよう支援に努めます。また、介護予防事業も併せて充実させ継続的に実施します。 施設利用者にとって、安全で居心地の良い環境となるよう施設の維持管理に努めます。また、利用者の声や多様化する福祉ニーズに応えられるよう職員の資質の向上を図りながら、地域に根ざした施設づくりに努めます。 当初予算額 19,300,000 円

(3) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護又は支援を要する高齢者等が可能な限り在宅生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざし、さらには事業の採算性に留意するとともに、サービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	要介護または要支援状態になった場合においても、利用者が可能な限りその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の立場に立ち、一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅介護支援等の提供の充実強化に努めます。また、主任介護支援専門員配置等による加算取得に当たっては、管理者と介護支援専門員との業務の相互チェック体制により、指定事業所として運営基準に則った適正な事業運営を図ります。 なお、新規の利用者増に鋭意努力し、事業の安定経営に努めます。 当初予算額 11,096,000 円
燦さん館ケアプランセンター	要支援、要介護状態となった場合においても、自立支援や状態維持に向けたケアプランを作成し、本人や家族が住み慣れた地域で安心した生活を送れるように支援します。また、多様なニーズに対応できるよう関係

	<p>機関との連携強化、地域の社会資源の開拓、インフォーマルサービス等の利用によるきめ細やかなサービスの提供に努めます。</p> <p>当初予算額 16,080,000円</p>
津谷居宅介護支援事業所	<p>利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方を繋げるとともに、積極的な医療との連携により、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える視点で自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。事業所として法令遵守に向けた管理機能を強化徹底するとともに、職員一人ひとりが信頼されるサービスを提供できるよう、更なる質の向上に努めます。また、支援困難ケースへの積極的な対応を行う等地域に必要とされる事業所を目指して取り組みます。</p> <p>当初予算額 30,697,000円</p>

②訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	<p>要介護または要支援にある利用者が、その有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう適正な訪問介護計画を策定し、利用者や家族との定期的なモニタリングにより、よりきめ細やかなサービスを提供します。</p> <p>事業運営に当たっては、管理者の下に業務の相互チェック体制を取り、常に指定基準等の法令遵守による業務を行います。</p> <p>なお、訪問介護員の人材確保に鋭意努力し、利用希望に応えうる人員体制整備と事業の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 17,696,000円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者の尊厳や基本的人権を尊重し、専門職としての自覚を持ち、利用者が安心して自立した日常生活を営むことができるように、身体介護及び生活援助を行うとともに、利用者の心身状況に沿った計画を作成し、より安全かつ快適なサービス提供に努めます。また、関係機関と連携を密にし、家族の介護負担軽減を図るとともに、事故防止と感染予防対策を徹底します。なお、積極的に研修等に参加し自己研鑽に励み、効率的で効果的かつ円滑な経営に取り組みます。</p> <p>当初予算額 21,916,000円</p>
ヘルパーステーションもとよし	<p>住み慣れた地域や在宅での安心した生活が継続できるよう、職員一人ひとりが日常的に知識と介護技術のスキルアップに努め、利用者や家族との繋がりを大切に、きめ細やかで質の高いサービス提供に努めます。継続的な課題である介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら雇用に繋がる機会づくりを検討します。事業管理を徹底し効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組み、多職種との丁寧な連携をさらに充実させ、在宅生活を支えます。</p> <p>当初予算額 36,325,000円</p>

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ	<p>利用者や家族の意向に寄り添い、安心してサービスを利用していただくとともに地域の医療・福祉関係機関と連携することで、より良質なサービスを提供します。サービス提供に当たり、利用者、一人ひとりの心身の状態を把握し、質の高いサービスを提供し、ご家族の心情に寄り添い、心身ともに介護負担の軽減を図ります。また、研修会等に参加しスキルアップすることでより地域から信頼を得られるよう、そして、サービスの質の向上に努めます。</p> <p>当初予算額 8,388,000円</p>
訪問入浴サービスもとよし	<p>穏やかな気持ちで住み慣れた地域・在宅での生活が継続できるよう、利用者・家族の意向に寄り添いながら、きめ細やかで質の高いサービス提供に努めます。心身の状況の変化に早期に対応し、医療や他事業所、地域との連携を密に図りながら、在宅生活が継続できるよう支援します。近年、増加している終末期や一時的な希望に対するサービス提供への迅速な対応を継続します。痛みの緩和や気分よく穏やかな気持ちで過ごせる機会となるよう、さらにはその様子を見てご家族の喜びや安心感が得られることを目指し、ケース検討や職員研修の強化、資質向上や接遇マナー等の向上を図ります。また、様々な感染症のケースが増えていることを踏まえ、情報収集による適切な対応を学び衛生管理の徹底により、すべての利用者の方に安心して気分よく入浴できるよう支援します。</p> <p>当初予算額 13,732,000円</p>

④通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燦さん館デイサービスセンター	<p>利用者の心身の状況や生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援するとともに、家族の精神的、身体的負担の軽減に努め、気仙沼・唐桑の特性を掴み、地域に密着した良質なサービスを提供します。また、利用者や家族から選ばれる施設を目指し、利用者確保に常に意識を持ち経営基盤の安定確保を図ります。</p> <p>なお、介護事故や車輻事故の防止に細心の注意を払い、質の高いサービスを提供します。</p> <p>当初予算額 74,252,000円</p>
気仙沼市福寿荘デイサービスセンター	<p>要介護状態等にあっても可能な限り在宅生活を持続できるよう、利用者や家族の意向に沿った適切な介護サービスを提供し、要介護状態等の悪化防止や機能維持への取組支援に努め、関係する機関・団体とより一層連携を深め、</p>

	<p>利用者が長年住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう努めるとともに、在宅で介護に当たる介護者等の介護負担軽減を図ります。また、指定管理者として各種法令を遵守し、社協の使命である地域福祉の推進及び公益性を重んじた施設運営を行います。</p> <p>日々の業務内容の点検とサービス内容の再検討、そして職員一人ひとりが今まで以上にコスト削減に努め、資質向上や接遇マナーの向上を目指し利用者の方に寄り添ったサービス提供を実践します。</p> <p>当初予算額 37,524,000円</p>
やすらぎデイサービスセンター	<p>利用者や家族の多様化するニーズに対応し、利用者の身体機能の維持及び生活の質の向上、他利用者との交流による社会との繋がりづくりを意識したサービス提供に努め、利用者が生きがいや充実した在宅生活が送れるよう支援します。また、職員や利用者間の交流のみならず様々な活動団体とも交流しながら、地域に開かれた施設運営を心掛けます。</p> <p>なお、常に新規利用者の確保を行い経営の安定化を図るとともに、研修参加や関連機関との連携を密にし、サービスの質の向上や職員の資質向上を図り、かつ職員が心身ともに健康でやりがいを持って働ける環境を整備し、利用者や家族の方から「安心」「信頼」を得るよう努めます。</p> <p>当初予算額 38,590,000円</p>
大谷デイサービスセンター	<p>利用者一人ひとりの心身の状態に配慮した安心安全なサービスの提供とそれぞれの思いを引き出す活動や役割の創出に努め、家庭や地域での生活が維持できるよう支援に努めます。また、音楽療法を通して「話す」「歌う」「楽器を使い、体を動かす」等楽しみながら心身機能の活性化を図り、喜びや生きがいを持つよう機会の提供に努めます。ボランティアの受け入れや地域の子どもたちとの交流を継続し、いろいろな年代とのふれあいを通し、相互理解と地域での支援に繋がるよう機会をつくります。</p> <p>年2回施設開放日を設け、岩盤浴体験、機能維持体操、介護方法の助言、各種相談等を本吉支所内の事業所と連携して実施することで相乗効果を図り、地域住民の交流の場や地域貢献の機会として地域に必要とされる拠点施設となれるよう努めます。</p> <p>当初予算額 35,733,000円</p>

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内容
グループホーム「桑の実」	<p>「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします。」と、掲げた施設理念を念頭に置き、入居者様の個別ケアの実践、自己決定を尊重するとともに、入居者様が地域の方々と共に楽しく生活できるようサービス提供に努めます。また、職員の資質向上に努め、各種研修会への参加や内部研修により専門知識を深め、サービスの質の向上に努めます。</p>

	当初予算額 35,903,000円
--	-------------------

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>利用者が安心して在宅生活が送れるよう、多職種と連携しながら適切な福祉用具の選定、援助、アセスメント等を利用者の立場に立ち、誠実かつ丁寧に行っていくことと併せて、社協の介護保険事業所として、事業所の専門性を地域づくりに活かすなどの付加価値にも積極的に取り組みます。また、貸出のエリアを広げ新たな利用者確保による安定経営を目指します。</p> <p>当初予算額 13,796,000円</p>

9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
生活支援体制整備事業	<p>互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の啓発と充実・発展を目指し、住民による支え合い活動の発表会開催や広報等の充実等により、活動の大切さを発信します。 ・地域活動や社会資源の把握に努めるとともに、地域課題については解決に向け住民や関係機関と一体となり取り組めるよう努めます。 ・第2層協議体の地区社協圏域での設置に向け、地区社協との連携強化、福祉コミュニティの活性化、支え合いのネットワークの体制整備等を図ります。 ・地域支え合い協力員の発掘と養成に努めます。また、研修会受講等をおし、地域支え合い推進員の資質向上を図ります。 <p>当初予算額 生活支援体制整備事業 5,200,000円(見込)</p>

<p>気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業</p>	<p>応急仮設住宅の入居者で再々延長の方々は今後の住まいがほぼ確定していますが、未だ決めかねている方もおります。入居者に対しては、引き続き寄り添いながら、見守り・交流支援を継続します。また、応急仮設住宅から転居後には新しい地域にスムーズに溶け込めるよう、先を見越した丁寧な関わりを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズに合った集会場の開放と地域サロンの開催、他団体への協力を継続します。 ・NPO等と協力してコミュニティづくりと環境整備を継続します。 ・関係機関との連絡調整を随時行い、入居者の生活の安心安全に努めます。 <p>上記以外にも気仙沼市からの依頼による訪問活動や高校・大学等の実習授業にも協力を継続します。</p> <p>当初予算額 26,403,000円</p>
<p>気仙沼市「絆」再生事業</p>	<p>被災者とコミュニティとの繋がりを支援し、交流活動の実施や支援をするとともに、新たな住まいや地域等での孤立の防止や見守り、関係機関への連絡、総合相談を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域へと移り住まわれた方々が、新しい地域に馴染み生活ができるよう繋ぎ役に努めます。また、行政等の関係機関をはじめ、地域支援団体等と連携調整を図りながら交流会の開催等、被災者間のみならず、地域住民が共に支え合える関係を構築する福祉コミュニティづくりを支援します。 ・支援団体等との連携を図り情報交換をより密に行い、支援の取りこぼしや途絶えがないよう一体となった支援に努めます。 ・地域課題の把握に努め、行政や支援団体、地域住民等と話し合いの場を作り、課題解決に向けた取り組みに努めます。 ・各種研修会等に参加し職員の資質向上を図り、適切な支援が行えるよう努めます。 <p>当初予算額 86,914,000円</p>
<p>気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業</p>	<p>被災した高齢者等が災害公営住宅や防災集団移転先での安心安全な生活が送れるように、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声がけ・相談等を行います。また、コミュニティの催し物等へ参加勧奨等の援助により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。併せて、介護予防や生活困窮等への対応等必要な援助を心掛け、関係機関等に速やかにかつ的確に繋ぐことができるよう、地域の拠点機関としての充実強化を図ります。さらには、生活援助員が高齢者等の相談等に適切に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。</p> <p>当初予算額 15,796,000円</p>
<p>気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター</p>	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者</p>

	<p>の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。また、「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン〈第2ステージの取組〉」に基づき、地域包括ケアシステム構築に向けた取組みを行います。</p> <p>① 認知症施策として、認知症初期集中支援事業への参加や認知症サポーター養成講座、認知症介護家族交流会等を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進します。</p> <p>② 地域ケア会議や唐桑地区多職種連絡会を通じて、地域の専門職や地域の関係者と連携しながら、高齢者の課題解決や地域住民への啓蒙に取り組めます。</p> <p>③ 生活支援体制整備事業として、地域支え合い推進員や地域の関係者と連携して、高齢者の多様な生活ニーズの把握やサービスの創出の必要性について普及啓発を行います。</p> <p>当初予算額 29,728,000円</p>
<p>気仙沼市本吉地域包括支援センター</p>	<p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図り、地域包括ケアシステム構築に向けた積極的な取組みを行います。</p> <p>① 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症初期集中支援事業や認知症サポーター養成講座・認知症家族懇談会を積極的に実施します。</p> <p>② 利用者の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法を介護支援専門員と相談しながら作成し、住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。</p> <p>③ 安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。</p> <p>④ 市が設置する協議体や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）と連携し、みんなで支え合う地域づくりに取り組めます。</p> <p>⑤ 認知症の人及びその家族が地域の身近な場所で専門職に相談しながら地域住民と交流ができ、地域住民が認知症についての理解が深められる場になるよう認知症カフェの開催・支援を継続していきます。</p> <p>本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等の医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみの支援ができるよう住民等への理解を深める取り組みを積極的に進めます。</p> <p>当初予算額 27,895,000円</p>

<p>高齢者実態把握事業</p>	<p>高齢の一人暮らしの方や高齢者夫婦等の生活状況を把握するため訪問調査を行い、日常生活の中に隠れている様々な問題やニーズについて、地域包括支援センターと協力・連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域に目を向け様々な社会資源を活用し、課題解決に向けた支援をします。</p> <p>当初予算額 津谷在宅介護支援センターの内 258,000 円</p>
<p>生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）</p>	<p>高齢者の社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図るため、慣れ親しんだ地域の方々との交流を大切に趣味活動等の提供プログラムを充実させ、楽しく前向きに生きることを目標に支援を行います。</p> <p>当初予算額 8,178,000 円</p>
<p>家族介護者交流事業</p>	<p>高齢者を在宅で介護している家族が、日帰り旅行等を通じ介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放することと、参加者の心身のリフレッシュを図ります。また、交流を通じて互いの介護に対する課題解決ができるよう支援します。年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回）</p> <p>当初予算額 在宅介護リフレッシュ事業の内 367,000 円</p>
<p>介護者教室事業</p>	<p>高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、要介護者の状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。</p> <p>当初予算額 在宅介護リフレッシュ事業の内 59,000 円</p>
<p>外出支援サービス事業</p>	<p>リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との間の移動を支援します。</p> <p>当初予算額 125,000 円</p>
<p>大谷学童保育事業</p>	<p>各年齢や発達段階に応じた児童の主体的な遊びを積極的に取り入れ、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立が図られるよう、日々職員間で振り返り話し合い、従事職員の研修等自己研鑽に励み質の向上を図ります。子どもの成長には、家庭、学校のほか、地域の協力が不可欠であることを認識し、保護者や地域、各関係機関等との連携を強化し、保育サービスの充実を図ります。さらに、地域住民や子育て関係者との交流の機会を設け、様々な体験活動を通して学童保育への関心を深め、「地域の子どもは地域で育てる」という子育てに地域が関わることへの理解啓発に取り組みます。また、継続的な避難訓練等リスク管理を引き続き徹底し、身の安全を守る方法を一人ひとりが学ぶとともに地域全体で見守って行けるよう、安心かつ安全な事業運営に取り組みます。</p> <p>当初予算額 9,073,000 円</p>

10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	行政担当課と連携しながら事務手続きを進め、各地区民児協運営の支援等民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。また、12月1日に全国一斉改選が行われることから、滞りない事務処理等に努めます。 事務委託契約に基づき、適正な事務処理に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協が位置付けしている広域ブロックとして、南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、ブロック内の民生委員児童委員活動の推進を図ります。 事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解と協力を得ながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 事務委託契約に基づき、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等開催を支援し、ボランティア活動を推進します。
気仙沼市老人クラブ連合会	老人クラブ活動の活性化を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。単位老人クラブ及び地区老人クラブ連合会が、地区の実情に即し活発に活動ができるように支援し、高齢者の生きがいと活動の充実を図る事業を展開するように努めます。 老人クラブが取り組んできた（友愛活動・健康づくり・社会奉仕）の積極的な推進と併せ、老人クラブを取り巻く現状を理解し、地域を担う老人クラブの役割を確認するとともに、関係機関の協力や関係団体等との連携強化の推進、専門部活動、女性リーダーの育成、地区老人クラブの充実強化に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と併せ、会員増強運動に積極的に取り組みながら、各関係機関や団体等と連携し、クラブ組織の基盤強化を進めます。さらに、女性リーダーの育成と女性部活動の充実を図るとともに、生きがいある生活の実現ができるよう運営支援に努めます
本吉町遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員生活相談に関する事業等、団体の適正な運営支援に努めます。